

いいやまじょうあと  
飯山城跡



△飯山城跡

飯山城跡は、市街地中央よりやや北寄りの独立丘陵上にあり、東に千曲川を望む景勝の地に立地する。南に本丸を置き、北に向かって二の丸・三の丸と階段状に配置した梯郭式ていかくしきと呼ばれる平山城であり、西側は帯曲輪・おびくろわ・西曲輪・外曲輪に区画され、周囲に一重の濠がめぐらされている。

本丸の南面は、特に防備に意をそそぎ、濠は広く急傾斜で、東・北・西の三面は直立に近い石垣を築いていた。本丸・二の丸・三の丸には、城主の居館・政庁・城櫓があり、西曲輪は重臣屋敷、濠外は家中屋敷や公共施設があった。

永禄7年（1564）に築城したものと思われる。